

環境マネジメントを所掌するにあたって

岡山大学 理事・副学長（財務・施設担当）

菅 誠治

榎野新学長のもと本学の環境マネジメントを所掌することになりました。私が子供の頃は高度成長真ただ中で、深刻な公害問題が各地で起こった時代でした。光化学スモッグ、ヘドロなどといった言葉を毎日のようにニュースで耳にし、自分が大人になったらこれらの問題を解決したいと思いながら、少年時代を過ごしました。その後、化学を中心とした「ものづくり」の研究分野に進みましたが、環境への配慮、持続可能な開発等を常に意識しながら研究と教育を行うことは、私自身の主題であり続けております。

岡山大学環境管理センターは、本学における環境保全と環境安全に関する専門業務を担い、本学の環境マネジメントと労働安全の充実を図ることを目的として設置されており、環境マネジメントの推進、廃棄物管理、排水管理、実験廃液の管理および処分、職場や実験室等の安全管理、これらに関連する教育・啓発を行っています。本学で掲げている環境方針では、教育、学術研究を始めとするあらゆる諸活動を通して、持続性のある循環型社会の構築と維持のために環境負荷の低減に努め、サステイナブル・キャンパスをめざすことを謳っております。さらには、新学長が示されている榎野 vision には、2015年に国連が示した SDGs（Sustainable Development Goals、持続可能な開発目標）の17項目との協働を目指すことが掲げられており、「しなやかに超えていく実りの学都」を構築に向けて全学が一丸となって進んで行くことが重要です。

ご承知のように、国立大学法人に対する運営費交付金が漸減している状況の中、限られた予算の中で、省エネ対策や老朽化したインフラの改修・長寿命化、化学物質の管理システムの更新等に取り組んでいかなければいけません。教職員の皆様のお知恵を拝借しながら、効率的な環境マネジメントに取り組んでいきたいと考えておりますので、ご協力とご支援を何卒よろしくお願い申し上げます。